平成２７年度学校だより
善誘館 NO．１１
Ｈ．２８．３．２５
甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

卒業 おめでとう

２３日(水)に善誘館小学校卒業証書授与式が行われました。今年度は３４名の卒業生が本校を巣立ちました。卒業生は特にこの一年間は,全校をひっぱっていってくれました。心あるリーダーであったと思います。名前を呼ばれ，返事をし，卒業証書を受け取る卒業生は，胸を張り堂々として自信に満ちあふれていました。

「はなむけのことば」では，「夢にむかって」「出会いを大切に」「感謝の気持ちをもつ」ということについて話をいたしました。 厳粛の中にも心温まる式となり，卒業生や保護者の皆様にとって感慨深いものになったと思います。

中学校に行っても一人一人が自分の花を咲かせてほしいと思います。

どんな時でも　一人じゃない
命の尊さ　手をとりあって
勇気と笑顔　胸に抱き
学ぶは我らの　善誘館小学校
羽ばたけ我らの　善誘館小学校
【善誘館小学校 校歌３番】

善誘館小学校の卒業生の皆さん　卒業 おめでとうございます。

学校関係者評価委員会 ・・学校経営への御意見をいただきました。

２月２３日(火)に第２回学校評議員会及び学校関係者評価委員会が開催されました。この会は，校長が学校の教育計画や教育活動，地域との連携の進め方など学校経営への参考意見や助言を求める目的で設置されたもので，今回は富士川地区連合自治会長さん，３名の学校評議員さん，ＰＴＡの正副会長さんの６名の方々に出席をいただきました。「学校評価の結果」を参考に，委員の皆さんに意見や感想を述べていただきました。限られた時間でしたが，多くの意見や感想をいただきました。保護者の皆様のアンケート結果と共に今後の学校経営に生かしていきたいと考えています。御協力ありがとうございました。

また，評価委員会に先立ち「第２回善誘館教育推進会議」が開かれ，子供を守る会，安心・安全パトロールや読み聞かせ活動など「地域との連携・特色ある学校」について平成２７年度の取り組みのまとめや意見交換を行いました。地域の皆様の熱意と御協力のありがたさを改めて感じました。今後も特色ある学校づくりに地域の皆様のお力をお借りしながら，進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

☆☆お花と写真が学校にお見えになった方々を温かくお迎えしてくれています☆☆

この一年間月毎に，また大きな学校行事の折りに玄関と校長室にきれいなお花を飾っていただきました，地域にお住まいの卒業生保護者の山田様，また，今年度１１月より，玄関と校長室に四季折々の写真を提供してくださっている富士川地区連合自治会長の内藤様には厚く御礼申し上げます。

おかげさまでいつも玄関が華やかで，気持ちよくお客様を迎えたり，児童や職員も楽しみに登校したりすることができました。

修了式では　子供たちに，「よくがんばったね」と声をかけました。いろいろなことがあったと思います。楽しいことより辛いことや嫌なことの方が多かったかもしれません。それを乗り越えてきた子供たちの顔には成長が見られます。壁を乗り越えるたびに人は強く，大きくなれると思います。結果には表れなくても，逃げないでチャレンジすることで人は成長するんだと思います。ぜひ，子供たちのチャレンジをこれからも応援してあげてください。そして，私たち大人も逃げることなく，前向きにチャレンジする姿を子供たちに見せてあげられるといいなと思います。 寒く厳しい冬の後には，必ず春が来ることを信じて ------。

ありがとうございました

今日で平成２７年度が修了です。在校生にとっては，今日が今年度最後の日になります。どんな一年だったのでしょうか。善誘館小学校にとっては,「おもいやる心をもつ子」「よく考え工夫する子」「元気でたくましい子」の学校教育目標を目指し，保護者や地域の方々の御理解をいただきながら，職員一丸となって，子供たちの学習面と生活面の指導をしてきた一年でした。まだまだ道半ばですが，子供たちは日々の学習や運動に友だちと一緒に精一杯がんばり，この一年間で大きく成長したと思います。

これからも子供たちが益々健やかにのびていきますよう，家庭・地域・学校がさらに手を携えてまいりたいと思いますので，どうぞよろしくお願いします。

学校だよりも今回が最終となりました。学校からの情報発信の一つとして発行してきました。失礼な表現や的外れな内容もあったのではと反省しています。紙面をお借りしてお詫び申し上げます。私自身学校だよりを書きながら，いろいろなことを学ばせていただきました。

社会が変わり，教育環境が変化する中で，教育現場は多くの課題を抱え，今まで以上に忙しくなり，一番大切にしなければならない子供たちとじっくり向かい合う時間を確保するのが難しくなってきています。こんな時代だからこそ，子供たちの健やかな成長のために学校と家庭が何でも相談できる関係でありたいと願います。これからも私たちの宝物である「善誘館の子」のために御理解と御協力をお願いしつつ感謝の言葉といたします。